# 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	ЯП	校長名		050 0001	所在地			
日本工学院北海道	専門学校	昭和56年9月	25日 神	量井 誠	(住所)	059-8601 北海道登別市札内町	Ţ18 <b>4</b> −3			
設置者名	i	設立認可年	月日 作	表者名		0143-88-0888	所在地			
学校法人片柳	学園	昭和31年7月	10日 =	千葉 茂	(住所)	144-8650 東京都大田区西蒲田	5-23-22			
分野		認定課程名	認定学	4名		03-6424-1111 門士認定年度	高度専門士認定	生年度 間	戦業実践専	<b>亨門課程認定年度</b>
文化・教養	文化	・教養専門課程	公務員2年	制学科	平成	23(2011)年度	-		平成2	8(2016)年度
学科の目的	社会全般に	に関する広い知見と	<b>戦見を養い、さまざまな</b>	状況に対応でき	きる、総合的な	な実務能力を身につけ	た公務員を養成する。			
学科の特徴(主な 教育内容、取得可 能な資格 等)	取得可能な	な資格:MOS(Excel)、	MOS(Word)、日商PC村	食定試験文章作	≡成3級					
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は終 単位数	講	義	演習	実習	実験		実技
2	昼間	※単位時間、単位いずま かに記入		915	5 単位時間	1,215 単位時間	0 単位時間		位時間	0 単位時間
年44公中日	=		単位	577 244 44 45	単位	単位	単位	単位	位	単位
生徒総定員	生徒美	€員(A) 留学:	主数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	J合(B/A)	中退率				
60 人	38		0 人	(	0 %	0 %				
		望者数 (D)	: 7		<del></del>					
	■就職者	数 (E) 職者数 (F)	: 7		人					
	■就職率	(E/D)	100		%					
	■就職者	に占める地元就職者	fの割合 (F/E) 100		%					
	■卒業者Ⅰ	こ占める就職者の割			%					
就職等の状況	■進学者		0		人					
170,70 th 62,100,00	■その他									
	(令和	5 年度交業	者に関する令和6年5」	1 日時点の情報	48)					
		職先、業界等	ETERN DIVINO 1 07	1 1 H 1 M	FIA7					
	(令和5年度									
	北海道開	発局、札幌管区気	象台、刑務官、北海道	5職員公立小口	中学校事務、	、弟子屈町役場、自衛	前官一般曹候補生(航	(空)		
		評価機関等から第				無				
第三者による学校評価		評価機関等から第、例えば以下について					毎年 な 日本 した			
第三者による 学校評価	※有の場合			受審年月:	:	評	価結果を掲載した ームページURL			
学校評価 当該学科の	※有の場合	、例えば以下について 評価団体:		受審年月:	:	評				
学校評価	※有の場合	、例えば以下について		受審年月:	:	評				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体:		受審年月:		評				
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp		受審年月:		評		1,700 単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp z時間による算定) 総授業時数				評			位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企乳	任意記載	習・実技の授美		評		単		
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 等と連携した実験・身 等と連携した演習の技 授業時数	習・実技の授美業時数	業時数	释 水		単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 等と連携した実験・実	習・実技の授美業時数	業時数	释 水		単単	位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	※有の場合 http://ww	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	任意記載 等と連携した実験・身 等と連携した演習の技 授業時数	習・実技の授美 業時数 た必修の実験・	業時数・実習・実技	释 水		単 単 単	位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: ww.nkhs.ac.jp 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	任意記載 等と連携した実験・身 等と連携した演習の行 授業時数 うち企業等と連携し	習・実技の授美 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	释 水		東 東 東 東	位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業署等のの 企業署等の実	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必能 (うち企	任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の打 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	習・実技の授美 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	释 水		東 東 東 東	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	※有の場合 http://ww (A:単位	<ul> <li>、例えば以下について 評価団体:</li> <li>z時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業</li> <li>うち必動</li> <li>(うち金</li> <li>数による算定)</li> </ul>	任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の打 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	習・実技の授美 業時数 た必修の実験 た必修の演習の	業時数 ・実習・実技 の授業時数	释 水		東 南 南 南	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 が変による算定) 総数による算定) 総数による算定)	等と連携した実験・身等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 素等と連携したインタ	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	释 水		単単単単単単173 単	位時間位時間位時間位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必析 (うち金 な数による算定) 総数による算定)	任意記載  等と連携した実験・身等と連携した演習の授援業時数  うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	释 水		単 単 単 単 173 単 0 単	位時間位時間位時間位時間位時間位時間位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業	等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 素等と連携したインタ 等と連携した実験・実	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担	業時数 ・実習・実技 の授業時数 受業時数)	評水		単 単 単 単 173 単 0 単 4 単	位時間位時間位時間位時間位時間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必析 (うち金 な数による算定) 総数による算定)	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数  うち企業等と連携し うち企業等と連携し まな企業等と連携したインタ	習・実技の授乳 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの技 習・実技の単位 位数	業時数 ・実習・実技 か授業時数 受業時数)	野水の授業時数		単 単 単 173 単 0 単 4 単 32 単	位時間位時間位時間位時間位時間間位時間間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 2数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業	等と連携した実験・実等と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したインタ 等を連携した大変等の選集等と連携したインタ 等と連携したインタ 等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位 位数 た必修の実験・	業時数 ・実習・実技 <b>ク</b> 授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	野水の授業時数		単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	位時間位時間位時間間位時間間位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち企 総数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数  うち企業等と連携し うち企業等と連携し まな企業等と連携したインタ	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位 位数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の実験	業時数 ・実習・実技 か授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	野水の授業時数		単 単 単 173 単 0 単 4 単 32 単	位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち企 総数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず	等と連携した実験・実等と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したインタ 等と連携した大変である企業等と連携したインタ 等と連携した東験・実 等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位 位数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の実験	業時数 ・実習・実技 か授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	野水の授業時数		単 単 単 173 単 0 単 4 単 4 単 4 単 0 単	位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うち企 総数による算定) 総単位数 うち企業 うち必ず	等と連携した実験・実等と連携した演習の授業時数 うち企業等と連携したインタ 等と連携した大変である企業等と連携したインタ 等と連携した東験・実 等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 習・実技の単位 位数 た必修の実験 た必修の実験 た必修の実験	業時数 ・実習・実技 か授業時数 受業時数) 立数 ・実習・実技	野水の授業時数		単 単 単 173 単 0 単 4 単 4 単 4 単 0 単	位時間位時間位時間位時間位時間位時間位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体:  www.nkhs.ac.jp  な時間による算定)  総授業時数  うち企業  うち必能  (うち企  数による算定)  総単位数  うち企業  うち必能  (うち企  (うち企  (うち企  (うち企  (うち企  (うち企  (うち企  (うち企  (うち企  () ちを企  () ちを定  () をを定  () をを	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携したインタ  等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携しまくな、学	習・実技の授乳 業時数 た必修の実験・ た必修の演習の ーンシップの担 での ででである。 での でである。 での でである。 での でである。 での でである。 での でである。 での でである。 での でである。 での でである。 での での での での での での での での での での での での での	業時数 ・実習・実技 の授業時数) ・変響・数 ・変響・数 ・変響・数 ・変響・数 ・変響・数 の単位数 ・変換	の授業時数	-A~-YURL	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 4 単単 4 単 4 単 0 単 0	位時間 位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちを全ま うちを全ま がいたな数 による算定) 総授業時数 うちを全まが (うちを全まが (うちを全まが (うちを全まが でもなが、 でもながが、 でもなががが、 でもながががががが、 でもながががががががががががががががががががががががががががががががががががが	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授援等時数  うち企業等と連携したインタ  等と連携した演習の単位数  うち企業等と連携したインタ  等と連携した演習の単単位数  うち企業等と連携した演習の単単位数	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技  が受業時数 ・実習・実技 の受業時数) 立数 ・実習・実技 の単位数	野水の授業時数	-A~-YURL	単 単 単 173 単 0 単 4 単 4 単 4 単 0 単	位時間 位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うちを企業 うちの担数 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うち企 (うちな)	等と連携した実験・実等と連携した演習の授業時数  うち企業等と連携した方習の経験・実際を連携したインタ  等と連携したインタ  等と連携した演習の単位数  うち企業等と連携した演習の単単位数  うち企業等と連携したインタ  課等と連携したインタ  課等と連携したインタ	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技  が受業時数 ・実習・実技 の受業時数) 立数 ・実習・実技 の単位数	の授業時数	-A~-YURL	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 4 単単 4 単 4 単 0 単 0	位時間 位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をの実に携した沢のように表現。	※有の場合 http://ww (A:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちを全ま うちを全ま がいたな数 による算定) 総授業時数 うちを全まが (うちを全まが (うちを全まが (うちを全まが でもなが、 でもながが、 でもなががが、 でもながががががが、 でもながががががががががががががががががががががががががががががががががががが	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の投授業時数  うち企業等と連携したインタ  うち企業等と連携したインタ  等と連携した大演習の単単位数  うち企業等と連携した演習の単単位数  うち企業等と連携した演習の単単位数  うち企業等と連携した減習の単単位数  さいまする。	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実習・実技 の単位数 単位数)	の授業時数	ームページURL 第1号)	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 4 単単 4 単 4 単 0 単 0	位時間 位位時間 位位 位 時間 位位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのいい人に記入 に記入 の属性性 のの属性 を のの の	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	<ul> <li>、例えば以下について 評価団体:</li> <li>www.nkhs.ac.jp</li> <li>沈時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業</li> <li>うちかが</li> <li>(うち血</li> <li>数による算定)</li> <li>総費業時数</li> <li>うち企業</li> <li>うちかが</li> <li>(うち血</li> <li< td=""><td>任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の投援業時数 うち企業等と連携したインタ  等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携したインタ  等と連携した大演習の単単に変勢を連携したインタ  に変称に従事したもののである。  は、実際と連携したインタ</td><td>習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。</td><td>業時数 ・実習・実技  力授業時数  ・実習・実技  力授業時数  ・変響・変数  ・実習・実技  の受験を ・実を  ・実を ・変数  ・実を ・変数  ・実を ・変数  ・実を ・変数  ・できる ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数 ・変数</td><td>の授業時数 の授業時数 の単位数 **校設置基準第41条第1項</td><td>ームページURL 第1号) 第2号)</td><td>単単単単単単単単 単</td><td>位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位</td><td></td></li<></ul>	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の投援業時数 うち企業等と連携したインタ  等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携したインタ  等と連携した大演習の単単に変勢を連携したインタ  に変称に従事したもののである。  は、実際と連携したインタ	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技  力授業時数  ・実習・実技  力授業時数  ・変響・変数  ・実習・実技  の受験を ・実を  ・実を ・変数  ・実を ・変数  ・実を ・変数  ・実を ・変数  ・できる ・変数	の授業時数 の授業時数 の単位数 **校設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号)	単単単単単単単単 単	位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームペー URL と連携にずい とをのいい人 に記入 に記入 教員員について	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うち企金 うちかが (うち企 が数による算定) 総授業時数 うちかが (うち企 が数による算定) 総数 うちかが (うち企 の修上な数 うち企金 でする数とする での修本である。 (うち企 の修本である。 での修本である。 (うち企 の修本である。 での修本である。 での修本である。 (2) 学士の学位を本	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携したインタ  うち企業等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単に変勢を連携したがある。  は、実等と連携したがある。 は、まずを表記を表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示できます。 は、まずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実習・実技 の単位数) (専修学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 ・ 校設置基準第41条第1項 ・ 校設置基準第41条第1項	ームページURL 第1号) 第2号) 第3号)	単単単単単単単単 単	位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をのいい人に記入 に記入 の属性性 のの属性 を のの の	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: www.nkhs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちかが (うちかが がないによる算定) 総授業時数 うちかが (うちかが を発すする数と での数と当ながでする数と当ながである。 での数と当ながでする数と当ながである。 での数と当ながでする数と当ながである。 での数と当ながでする数とは、できまる。 での数と当ながでする数とは、できまる。 での数と当ながでする数とは、できまる。 での数とは、できまるがでする数とは、できまる。 での数とは、できまるがでする数とは、できまるがです。 での数とは、できまるがでする。 での数とは、できまるがでする。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 での数とは、できまるができまる。 できまるができまるができまる。 できまるができまるができまる。 できまるができまるができまるができまる。 できまるができまるができまる。 できまるができまるができまるができまるができまる。 できまるができまるができまるができまるができまるができまるができまるができまるが	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携したインタ  うち企業等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単に変勢を連携したがある。  は、実等と連携したがある。 は、まずを表記を表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示できます。 は、まずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実性 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の事修学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 ・ 校設置基準第41条第1項 ・ 校設置基準第41条第1項 ・ 校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	単 単 単 単 単 173 単 4 単 32 単 4 単 0 単 0 人	位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位	
学校評価 当該学科のホームペー URL と連携にずい とをのいい人 に記入 に記入 教員員について	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちらなが (うちのを を全すがしている。 がかれる。 を発達する。 を発すする。 でのの専門等制をでする数と当るををできる。 でのの専門等制をできる。 でのの専門等制をできる。 でのの専門等制をできる。 でのの専門等制をできる。 でののでは、またので	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携したインタ  うち企業等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単に変勢を連携したがある。  は、実等と連携したがある。 は、まずを表記を表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示できます。 は、まずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実性 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の事修学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 な校設置基準第41条第1項 な校設置基準第41条第1項 な校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	単単 単単 単単 173 単 4 単 32 単 0 単 0 人 1 人 1 人	位時間間位位時間間位位時間間位位時間間位位時間間位位時間間位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科のホームペー URL と連携にずい とをのいい人 に記入 に記入 教員員について	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちらなが のでは数 による算定) 総授業時数 うちらなが でのがでする。 でのをとするがでする数とは、学のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携したインタ  うち企業等と連携した大演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単位数 うち企業等と連携した演習の単単に変勢を連携したがある。  は、実等と連携したがある。 は、まずを表記を表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示である。 は、まずを表示できます。 は、まずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをまずをま	習・実技の授業 業時数 た必修の実験・た必修の実験・た必修の演習の ーンシップの担 での実験をの演習の を必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 た必修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をである。 ため修の実験をできる。	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実性 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の対象 ・実技 の単位数 の単位数 の単位数 の単位数 の事修学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 な校設置基準第41条第1項 な校設置基準第41条第1項 な校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	単単 単単 単単 173 単 4 単 32 単 0 単 0 人 1 人 0 人	位時間間位位時間間位位時間間位位時間間位位時間間位位時間間位位位位位位位位位位	
学校評価 当該学科のホームペー URL と連携にずい とをのいい人 に記入 に記入 教員員について	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちのを うちのを がいよる算定) による算定) 総授業時数 うちのを でするながでする。 でするながでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする	任意記載  等と連携した実験・実等と連携した演習の授業時数  うち企業等と連携したインタ  等と連携した大演習の  事等と連携したインタ  等と連携した大演習の  事等と連携した大演習の  事等と連携した大演習の  章等と連携した大演習の  章等と連携した大演習の  章等と連携したインタ  は、一次の  「大きなのは、一次の  「大きなのは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次	習・実技の授乳 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ たンシップの社 で、実技の単位 を必修の実験を で、実技の単位 た必修の実験を で、方で、 で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実性 数 ・実性 の数 ・実性 の単位数) (専修学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	単単 単単 単単 173 単 4 単 32 単 4 単 0 単 0 人 1 人 1 人 0 人	位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間	
学校評価 当該学科のホームペー URL と連携にずい とをのいい人 に記入 に記入 教員員について	※有の場合 http://ww (A:単位 (B:単位	、例えば以下について 評価団体: www.khs.ac.jp な時間による算定) 総授業時数 うちのを うちのを がいよる算定) による算定) 総授業時数 うちのを でするながでする。 でするながでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 でするとのでする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする	任意記載  等と連携した実験・手等と連携した実験の行授業時数  うち企業等と連携したインタ  等をと連携した大変習の単位数  うち企業等と連携した大変習の単単位数  うち企業等をと連携した大変である。 第等と連携した大変である。 第等と連携したであずる。 第等と連携したであずる者等に従事でもした後、今でと連携したがあずる者等に対する者等	習・実技の授乳 業時数 た必修の実験・ た必修の実験・ たンシップの社 では数 た必修の実験をの演習の た必修の実験をの演習の たた・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業時数 ・実習・実技 の授業時数) 立数 ・実性 数 ・実性 の数 ・実性 の単位数) (専修学 (専修学	の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 な校設置基準第41条第1項 な校設置基準第41条第1項 な校設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	単単 単単 単単 173 単 4 単 32 単 0 単 0 人 1 人 0 人	位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間位位時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- 教育課程の編成において公務員業界に関わる就業先の動向について知見の深い連携先の職員を交えて、授業科目・授業 内容・
- 授業方法等の教育課程に対する意見等を収集・反映し、学生が実務に関する能力や知識を習得できる環境を構築できるよ
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科において現在実施中の教育内容を基に次年度以降に実施するカリキュラムの予定を作成する。教務課指導により教育課程編成委員会(以下委員会)を招集し、現在または次年度以降に実施する教育内容が実践的であるか検討を行う。委員会において得られた結論は、各学科が教育内容へ適用する方法の検討を行い、最終的には授業科目の開設・授業内容の改善・最新の知識や技術の導入などを行う。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	3
奥田 修弘	登別市 総務部人事・行政管理グループ	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	1
佐渡 新	日本工学院北海道専門学校		_
小川 昌宏	日本工学院北海道専門学校		_
冨永 史人	日本工学院北海道専門学校		_
仙名 伸行	日本工学院北海道専門学校		_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年1月22日 16:00~17:00 第2回 令和6年3月21日 14:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

職場で求められる人物像を伺い、学生育成に反映させている。具体的には、学生に身につけさせるべきPCスキルについて、実務に必要なものを挙げて頂き、授業内容に具体的項目として盛り込んでいる。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。) の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

提携先のアドバイスを受けながら、就業後実践的に行動出来るような演習を構築する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

提携先のアドバイスを受けながら、就業後実践的に行動出来るような演習を構築する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
1120000000		行政研究を通し、「人助け」や「まちづくり」を担う社会の一員としての自覚と責任感を育みます。	登別市 総務部人事・行政管理グ ループ

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員のスキル向上のため以下の研修を開催または、必要に応じて外部研修への参加を行う。(片柳学園職員学内研修実施取扱細則による)

- ・実践的かつ専門的な知識・技術・技能を習得するための研修
- 指導力の修得
- 向上のための研修

### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 北海道開発局の事業説明会および座談会 連携企業等: 北海道開発局室蘭

期間: 令和5年6月8日 13時00分~15時00分 対象: 公務員学科教職員

内容 北海道開発局の事業説明と卒業生の動向について

研修名: 登別市役所業務説明会 連携企業等: 登別市総務部

期間: 令和5年7月12日 13時00分~15時00分 対象: 公務員学科教職員

内容 事務職、技術職、消防職についての業務説明

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 一般職高卒者試験技術系区分に関する説明会 連携企業等: 人事院北海道事務局

期間: 令和5年5月26日 13:15~17:05 対象: 公務員学科教職員

内容 各採用機関における業務説明と望まれる人物像について

研修名: 職業実践専門課程に係る研修会 連携企業等: \*\*海遊和立事修学校科各種学校教員能力認定委員会

期間: 令和5年8月1日15時00分~16時30分 対象: 全学科教職員

内容 「心動かす価値が未来を変える~持続可能な組織・地域をつくるために~」

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 北海道開発局の事業説明会および座談会 連携企業等:北海道開発局室蘭

期間: 令和6年6月6日 13時00分~14時00分 対象: 公務員学科教職員

内容 北海道開発局の事業説明と卒業生の動向について

研修名: 札幌管区気象台の事業説明会および座談会 連携企業等: 札幌管区気象台

期間: 令和6年6月13日 13時00分~14時00分 対象: 公務員学科教職員

内容 札幌管区気象台の事業説明と卒業生の動向について

研修名: 国土交通省北海道開発局業務説明・現場見学会 連携企業等:北海道開発局室蘭

期間: 令和6年9月30日 11:00~17:00 対象: 公務員学科教職員

内容 北海道開発局の業務について実地で見学して仕事のやりがいを理解する。

# ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 一般職高卒者試験技術系区分に関する説明会 連携企業等: 人事院北海道事務局

期間: 令和6年6月11日 13:15~17:05 対象: 公務員学科教職員

内容 各採用機関における業務説明と望まれる人物像について

研修名: 職業実践専門課程に係る研修会 連携企業等: \*\*海運和立事等学校科令程学校教育能力認定委員会

期間: 令和6年12月19日14時30分~16時00分 対象: 全学科教職員

内容 「つながり高め合う これからの学び」

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

### (1)学校関係者評価の基本方針

- ・学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善につなげる
- ・学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼される学校作りをすすめる
- ・学校長は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援や条件整備等の改善措置を講ずる

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応									
	ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目							
(1	)教育理念•目標	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているのか。 ・学校における職業教育の特色は何か。 ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。 ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知されているか。 ・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか。							
(2	)学校運営	・目的等に沿った運営方針が策定されているか。 ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 ・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか。 また、有効に機能しているか。 ・人事、給与に関する規定等は整備されているか。 ・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか。 ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 ・情報システム化による業務の効率化が図られているか。							
(3	)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の・教育理念、育成人材像や業界の二一ズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。編成・実施方針等が策定されているか。・学校等のカリキュラムは体系的に編成されているか。・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。・関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか。・授業評価の実施・評価体制はあるか。・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか。・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか。・資格試験取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。・人材育成目標の達成に向け授業を行う事ができる要件を備えた教員を確保しているか。・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。・関連分野における先端的な知識・技能等を習得する資質向上のための取り組みが行われているか。・職員の能力開発のための研修等が行われているか。							

(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか。 ・資格取得の向上が図られているか。 ・退学率の向上が図られているか。 ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動への改善 に活用されているか。
(5)学生支援	・進路就職に関する支援体制は整備されているか。 ・学生相談に関する体制は整備されているか。 ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ・課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ・学生に生活環境への支援は行われているか。 ・保護者と適切に連携しているか。 ・卒業生に対する支援体制はあるか。 ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 ・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。 ・関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか。
(6)教育環境	<ul><li>・施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</li><li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。</li><li>・防災に対する体制は整備されているか。</li></ul>
(7)学生の受入れ募集	・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか。 ・学生募集活動は、適性に行われているか。 ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。 ・学生納付金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定してるといえるか。 ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ・財務に関して会計検査が適性に行われているか。 ・財務情報公開の体制整備は出来ているか。
(9)法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。 ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 ・自己評価結果を公表しているか。
(10)社会貢献·地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 ・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか。 ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託 を積極的に実施しているか。

・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか。

·留学生の受け入れ·派遣、在籍管理等において適切な手続きが取られているか。

・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。

学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか。

# ※(10)及び(11)については任意記載。

- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ・休退学への取組の検討

(11)国際交流

- ①学生と年3回、1人30分~1時間の面談を行い、学生と教員の考えを共有することで信頼関係を築き、相談しやすく休退学に向かないための仕組みづくり
- ②欠席連絡を担任に直接行う仕組みづくり(電話応対の練習も兼ねる)、連絡がない場合は担任とクラスメイトから連絡を行い、孤独ではなく頼れる仲間や上司がいることを実感させる仕組み

# (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
菅田 浩之		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	地方公務 員
伊藤 義幸		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	卒業生 校友会会
川田 弘教		31日(2年)	企業等委 員
藤江 紀彦	登別市社会福祉協議会	31日(2年)	企業等委 員
吉田 武史		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	卒業生
黒田 友美	9.77 / 1) 伊莱安	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	PTA

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例)企業等委員、PTA、卒業生等
- (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: http://www.nkhs.ac.jp/news/public/publicindex.html

公表時期: 45536

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ・委員会から求められた資料については、提示することが適当でないものを除き、積極的に提示するものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・建学の精神、教育方針、教育目的(学生便覧) ・所在地、連絡先(HP) ・学校の沿革、歴史(学生便覧)
(2)各学科等の教育	・入学者に関する受入方針(HP) ・収容定員(HP) ・科目配当表・科目編成・授業時数(HP) ・年間の授業計画(HP) ・学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等(HP) ・資格取得、検定試験合格者等の実績(HP) ・卒業後の進路・進学者数・進学先、就職者数・主な就職先(HP)
(3)教職員	・教職員の組織(H28組織図)

(4)キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育への取組状況(HP) ・実習・実技等の取組状況(HP) ・就職支援等への取組状況(HP)
(5)様々な教育活動・教育環境	<ul><li>・学校行事への取組状況(HP)</li><li>・課外活動・部活動(HP)</li><li>・カウンセリングルームなど(学生便覧)</li></ul>
(6)学生の生活支援	・学生支援への取組状況
(7)学生納付金·修学支援	<ul><li>・学生納付金の取扱金額、納入時期等(HP)</li><li>・活用できる経済支援措置の内容等(HP)</li></ul>
(8)学校の財務	<ul><li>・日本工学院北海道専門学校の財務情報(北海道校の財務情報)</li><li>・自己点検自己評価(自己評価(大項目 財務))</li><li>・項目別の自己評価表(自己評価(項目別 財務))</li></ul>
(9)学校評価	<ul> <li>・自己点検自己評価(自己評価(大項目))</li> <li>・項目別の自己評価表(自己評価(項目別))</li> <li>・学校関係者評価の結果(学校関係者の結果)</li> <li>・学校関係者評価の結果に対する改善方策(結果に対する方策)</li> </ul>
(10)国際連携の状況	なし
(11)その他	HP

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)情報提供方法
(ホームページ)・広報誌等の刊行物
URL: http://www.nkh
公表時期: 45536 )) 広報誌等の刊行物 ・ その他(

http://www.nkhs.ac.jp 45536

# 授業科目等の概要

		文化 分類		で養専門課程 2	公務員2年制学科)				授	受業ス	方法	場	所	教	Ą	
	必	選	自	·运盘到 D A	神動力 口 極東	配当年次	授業	単	講	演	実験・	校	校	専	兼	企業等し
	修	択必修	由選択	授業科目名	授業科目概要	次・学期	時数	位数	義	圖	技実習・中	内	外	任	任	との連携
1	0			公務員講座 I	公務員の職種や仕事の概要、心得などを学習し、理解します。	1 · 前	30	2	0		実	0		0		
2			0	公務員講座Ⅱ	特別講義などで、公務員の教養や必要な知 識を身につけます。	1 . 後	30	2	0			0		0		
3			0	公務員講座ゼミ	相互支援や市民活動を通して人助けやまち づくりの意識を醸成します。	1 · 後	60	2		0		0		0		
4			0	社会科学 I	政治・経済・現代社会を中心に日本国憲法等 の法律を扱い、公務員に必要な法律力を身 につけます。	1 · 前	30	2	0			0			0	
5			0	社会科学演習 I	政治・経済・現代社会の分野を総合的に学 習します。	1 · 前	15	1		0		0			0	
6			0	人文科学 I	日本史・世界史・地理・文学・芸術・哲学 などの出題されやすい項目を学習します。	1 · 前	30	2	0			0			0	
7			0	人文科学演習 I	英文解釈を含む文章理解や国語・小論文な どを学習します。	1 · 前	15	1		0		0			0	
8			0	自然科学 I	物理・化学・生物・地学の出題されやすい 項目を学習します。	1 · 前	30	2	0			0			0	
9			0	自然科学演習 I	物理・化学などの特に計算を要する分野を 重点的にグループ学習します。	1 · 前	15	1		0		0			0	
10	0			判断推理 I	課題処理の出題されやすいパターンを学習し、物事を柔軟に考える力を養成します。	1 · 前	60	4	0			0		0		
11	0			判断推理演習 I	課題処理の過去の出題問題を数多く扱い、グループ学習で解法能力を高めます。	1 · 前	30	1		0		0		0		
12	0			数学・数的推 理 I	数学系基礎を復習し数的推理の様々な問題 パターンを扱い各分野の頻出問題の解法を 学びます。	1 · 前	60	4	0			0		0		
13	0			数学・数的推 理演習 I	過去の出題問題を数多く扱い、問題の対応 能力を高め論理的思考力を身につけます。	1 · 前	30	1		0		0		0		
14	0			資料解釈 I	各種の資料からいろいろなデータを読み取る訓練をしていきます。	1 · 前	30	2	0			0		0		
15	0			資料解釈演習 I	過去の出題問題を数多く扱い、問題の対応 能力を高めます。	1 · 前	15	1		0		0		0		
16			0	体力試験演習 I	特に公安系公務員を希望する者が、筋力 アップを図ります。	1 · 前	30	1		0		0		0		
17			0	体力試験演習 II	アップを図ります。	1 . 後	30	1		0		0		0		
18			0	公務員試験対 策 I	特に国家・地方公務員を希望する者が、高度 な水準で知識を補完し本番での高得点を目 指します。	1 · 前	30	2	0			0		0		
19			0	公務員試験対 策 Ⅱ	特に国家・地方公務員を希望する者が、高度 な水準で知識を補完し本番での高得点を目 指します。	1 . 後	30	2	0			0		0		
20			0	公務員試験対 策演習 I	正確性と対人折衝能力を育むため、ゼミ形式で意見を出し合いながら問題演習をします。	前	15	1		0		0		0		
21			0	公務員試験対 策演習 Ⅱ	正確性と対人折衝能力を育むため、ゼミ形式で意見を出し合いながら問題演習をします。	後	15	1		0		0		0		
22			0	自己表現 I	自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とします。	· 前	30	2	0			0		0		
23			0	自己表現演習	自己表現をゼミ形式で行い、互いに意見を 述べ合うことで、建設的な意見交換を理解 します。	1 前	15	1		0		0		0		
24			0	適性演習 I	公務員試験の多くに出題される適性試験の 解法を習得します。	1 前	30	1		0		0		0		
25			0	適性演習Ⅱ	公務員試験に対応する各種適性の解法を習得します。	1 . 後	30	1		0		0		0		
26			0	模擬試験A	模擬試験を通じて、自分の弱点を発見し、弱点克服をさせることで、進路実現のために活用します。	前	30	1		0		0		0		
27			0	模擬試験ゼミ A	模擬試験後に自己採点し、ミスの見直しを します。学生間で教えあい論理的思考力を 育みます。	1 · 前	30	1		0		0		0		

28		0	総合模試演習 I	模擬試験で学力の定着度や自分の弱点を発 見させ、志望先の合格可能性など進路実現 に活用します。		15	1		0	0		0		
29		0	総合模試演習 Ⅱ	模擬試験で学力の定着度や自分の弱点を発 見させ、志望先の合格可能性など進路実現 に活用します。		15	1		0	0		0		
30		0	面接対策A	面接試験に合格するために、基本動作の習 得から、心に訴える受け答えまでを徹底的 に訓練します。		30	1		0	0		0		
31		0	面接対策ゼミ A	面接対策を題材とし、グループで課題点や 良い点を述べ合い、互いに成長していきま す。	1 . 後	30	1		0	0		0		
32	0		文書業務	文書の書き方を学び課題達成することで、 事務処理能力のうち特に正確さや完遂力を 養います。	1 前	15	1	0		0		0		
33	0		パソコン演習 I	基本操作から表計算まで、その概要を理解 し与えられた基本的な課題を作成できるよ うにします。	1 . 後	30	1		0	0		0		
34		0	まちづくり計 画	登別市の諸問題をテーマに分析し政策提言書としてまとめ、まちづくりへの主体性を育みます。		30	2	0		0		0		
35	0		行政研究 I	行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研究します。	1 · 後	60	4	0		0		0		
36		0	行政研究ゼミ I	行政研究を通し、「人助け」や「まちづく り」を担う社会の一員としての自覚と責任 感を育みます。	1 · 後	30	1		0	0		0		
37	0		総合演習I	事務処理能力、仕事の正確さ、法律力、忍耐力、責任感、完遂力、コミュニケーション能力を育みます。	1 · 後	90	3		0	0		0		
38		0	インターン シップ	希望する官公庁と交渉し、職場体験をしま す。公務員として何が必要かを自ら考え自 己研鎖します。	1 · 後	15	1		0		0	0		
39		0	公務員講座Ⅲ	特別講義や見学などで、公務員の教養や必要な知識を身につけます。	2 · 前	30	2	0		0		0		
40		0	公務員講座Ⅳ	さまざまな事例に基づき、実社会に出るに 際しての考え方を学びます。	2 · 後	45	3	0		0		0		
41		0	社会科学Ⅱ	政治・経済・現代社会を中心に日本国憲法等 の法律を扱い、公務員に必要な法律力を身 につけます。		30	2	0		0			0	
42		0	社会科学演習 Ⅱ	社会科学の過去の出題問題を数多く扱い、 受験に備えつつ、考え方を身に着けます。	2 · 前	15	1		0	0			0	
43		0	人文科学Ⅱ	日本史・世界史・地理・文学・芸術・哲学などを、受験に向け、実践的に学習します。		30	2	0		0			0	
44		0	人文科学演習 Ⅱ	人文科学の過去の出題問題を数多く扱い、 受験に備えつつ、考え方を身に着けます。	2 · 前	15	1		0	0			0	
45		0	自然科学Ⅱ	物理・化学・生物・地学を、受験に向け、 実践的に学習します。	2 · 前	30	2	0		0			0	
46		0	自然科学演習 Ⅱ	自然科学の過去の出題問題を数多く扱い、 受験に備えます。	2 · 前	15	1		0	0			0	
47		0	判断推理Ⅱ	各分野のさまざまな問題を学習し、総合的 知識を身につけます。	2 · 前	60	4	0		0		0		
48		0	判断推理演習 II	課題処理の過去の出題問題を数多く扱い、 受験に備えます。	2 · 前	30	1		0	0		0		
49		0	数学·数的推 理Ⅱ	さまざまな問題パターンを学習し、各分野の頻出問題の解法を学び、受験に備えます。		60	4	0		0		0		
50		0	数学・数的推 理演習 II	過去の出題問題を数多く扱い、各分野の実 践的解法を学びます。	2 · 前	30	1		0	0		0		
51		0	資料解釈Ⅱ	さまざまな資料からデータを読み取る高度 な訓練をし、解釈力をパワーアップしてい きます。		30	2	0		0		0		
52		0	資料解釈演習 Ⅱ	問題を数多く扱い、受験に備えます。自ら 演習を重ね、自己研鑚能力を身につけま す。	2 · 前	15	1		0	0		0		
53		0	体力試験演習 Ⅲ	公安系公務員の希望者が、持続的に筋力 アップを図ります。	2 · 前	30	1		0	0		0		
54		0	公務員試験対 策Ⅲ	特に国家・地方公務員を希望する者が、高度 な水準で知識を補完し本番での高得点を目 指します。	2 · 前	30	2	0		0		0		
55		0	公務員試験対 策演習Ⅲ	正確性と対人折衝能力を育むため、ゼミ形式で意見を出し合いながら問題演習をします。	2 · 前	15	1		0	0		0		
56		0	自己表現Ⅱ	自己表現の方法や技術を学び、自分の個性 を他者に上手く伝えられることを目標とし ます。	2 · 前	30	2	0		0		0		
57	ı	0	自己表現演習	自己表現をゼミ形式で行い、互いに意見を 述べ合うことで、建設的な意見交換を理解 する。	2 · 前	15	1		0	0		0		

合計						科					2130			
69			0	総合演習Ⅱ	事務処理能力、仕事の正確さ、法律力、忍耐力、責任感、完遂力、コミュニケーション能力を育みます。	· 後	90	3		0		0	0	
68			0	行政研究ゼミ Ⅱ	行政研究を通し、「人助け」や「まちづく り」を担う社会の一員としての自覚と責任 感を育みます。	2 · 後	30	1		0		0	0	С
67	0			行政研究Ⅱ	行政や市民団体など、それぞれの活動や関 わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研 究します。	2 · 後	60	4	0			0	0	
66			0	MOS演習	実務上必要な文書ソフト及び表計算ソフト の利用方法を学び資格合格レベルを目指し ます。	2 · 後	30	1		0		0	0	
65			0	日商PC演習	日商PC検定(文書作成)3級に合格できる能力を身につけます。事務処理での正確性を育みます。	2 · 後	30	1		0		0	0	
64	0			パソコン演習 II	表計算知識を基に、より進んだ使い方を習得します。データ処理の大まかな流れを把握します。	2 · 後	30	1		0		0	0	
63			0	面接対策ゼミ B	面接対策を題材とし、グループで課題点や 良い点を述べ合い、互いに成長していきま す。	2 · 後	30	1		0		0	0	
62			0	面接対策B	面接試験に合格するために、基本動作の習 得から、心に訴える受け答えまでを徹底的 に訓練します。	2 · 後	30	1		0		0	0	
61			0	総合模試演習 Ⅲ	模擬試験で学力の定着度や自分の弱点を発見させ、志望先の合格可能性など進路実現 に活用します。	2 · 前	15	1		0		0	0	
60			0	模擬試験ゼミ B	模擬試験後に自己採点し、ミスの見直しを します。学生間で教えあい論理的思考力を 育みます。	2 · 前	30	1		0		0	0	
59			0	模擬試験B	模擬試験を通じて、自分の弱点を発見し、 弱点克服をさせることで、進路実現のため に活用させる。	2 · 前	30	1		0		0	0	
58			0	適性演習Ⅲ	ほとんどの公務員試験に対応する適性の解 法を実践的に習得します。	2 · 前	30	1		0		0	0	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
卒業要件: 80単位以上、1,700時間以上	1 学年の学期区分	2 期
<b>履修方法: 講義・演習による</b>	1 学期の授業期間	15 调

- 履修方法・講義・演習による 1学期の授業期間 (留意事項)
   一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
   企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。